

ふれあい

No. 6

編集発行

上越市立春日小学校

校長 田邊 道行

夏休みが終わり、2学期がスタートしました。本日、始業式で、子どもたちに次のような話をしました。

1学期の終業式に、夏休み中に取り組んでほしい「わくわく・チャレンジ・ありがとう」の話をしました。覚えていますか。

「わくわく」は自分でやりたいこと、「チャレンジ」は、夏休みだからこそできることも大切だけれど、まずはやるべきこと、そして、「ありがとう」は誰かのためになることでした。やりたいこと、やるべきこと、誰かのためになることができましたか。できた人は、とても充実した夏休みになったことでしょうか。

ところで、今年は夏休み中に、パリオリンピックがありました。テレビなどで見ましたか。その中で、柔道の阿部詩（うた）選手が試合に負けて、声を出して泣いたことが話題となりました。詩選手は、前回の東京オリンピックでお兄さんの一二三（ひふみ）選手と同じ日に金メダルを取ったので、今回は「兄妹での連覇」が期待されていました。それが、2回戦で相手に一本を取られて負けてしまったのです。このときに声を上げて泣いた詩選手の姿に同情する声もあれば、「恥ずかしい。子どもでもないのに…」などという批判のような声もありました。子どもであれば泣いてよくて、大人が泣いてはいけないのでしょうか。

では、皆さんは、この夏休み中に泣いたことがありましたか？（手を挙げてもらって確認）

泣くことにはいろいろな理由があると思いますが、人は成長するにしたがって自分のために泣くことが少なくなります。ですから、1年生に比べれば、6年生が泣くことは少なくなります。大人になると泣くことが減り、逆に、赤ちゃんはたくさん泣きます。

赤ちゃんはまだ言葉をうまく使えないので、泣くことで自分の気持ちや「助けてほしい」ということを伝えています。お腹が空いたとき、眠いとき、寒いとき、暑いとき、怖いとき…、赤ちゃんは自分を守るために泣くことが必要なのです。そして、自分が泣くことによって周りの人がどのような反応をしていくか学んでいきます。それによって「わがまま泣き」をすることも出てきます。

一方、大人は自分のために泣くことが少なくなる分、誰かのために泣くことや、涙を流さずに心の中で泣くことが多くなってきます。相手を思いやって泣く「思いやり泣き」や「感動泣き」などがあります。ただ、大人でも自分の気持ちを整理できなくて涙を流して泣いてしまうこともあります。最初に話をした阿部詩選手は、たくさんの期待を背負って、金メダルを取って当たり前という重圧と闘って頑張ってきたものが一気に崩れてしまい、泣いてしまったのでしょうか。実は、泣くことは、体の中にたまったストレスを減らすなど、心と体を守るために大切な働きもします。詩選手は、思い切り泣いた後、柔道の団体戦に出場して銀メダルを取りました。私は、泣いたことをプラスに変えて取り組んだ詩選手の姿を、立派だなあと思いました。

皆さんの身の周りにある「泣く」という行動を振り返ったときに、それが「赤ちゃん泣き」や「わがまま泣き」になっていることは、ありませんか。「やりたくない」「行きたくない」「面倒くさい」「やめられない」「私のことをもっと見て」「思いどおりにならない」などの理由で、自分のために泣いていることが多いようでしたら、誰かのための涙に変えていきましょう。2学期は、「思いやり泣き」や「感動泣き」ができる学校行事や学習活動がたくさんあります。よい涙を流せるような2学期にしていきましょう。

3学年 かがやき

<学年目標>

笑顔☆輝け!

3年生は、元気いっぱい！エネルギッシュで行動的です。身近な地域や上越市内を巡りながら、地理的環境や特徴に興味・関心を広げています。

バスに乗ってGO！～直江津港、頸城平野を巡り、棚田の稲文字に感動しました。



電車でGO！～高田小町、雁木通りプラザ、高田まちかど交流館、朝市をわくわくしながら散策しました。



あおぞら学年(4年生)

カッコいい4年生
になろう!

～自分も友達も大切にするあおぞら学年～

～探鳥会～

～交通安全教室～

～松葉かき～

4年生になり、上学年の仲間入りをしました。学校行事や春日山を守るための活動に意欲的に取り組んでいます。



150周年記念
～体育祭～

5月

～正善寺浄水場～

6月

～正善寺ダム～



～クリーンセンター～

～汚泥リサイクルパーク～

7月

より多く綱をとることができるよう、作戦を考えて、精一杯取り組みました。



ダムの中の気温は9度で、涼しくてびっくりしました。

春日ハッピーウィーク!

家庭学習強調週間で学びのリズムも整えよう!

春日小学校

学びづくりプロジェクト

学びのスタンダードを意識して活動に取り組みましょう!

2学期がスタートしました。9月2日(月)から6日(金)まで、「春日ハッピーウィーク」を実施します。年度初めに配付した「学びのスタンダード」の「授業編」「家庭学習編」を再確認しましょう。2学期は、「授業編」からポイントをしばって、力を入れて取り組んでいきます。

春日中学校小中一貫教育プロジェクト

学びのスタンダード～授業編～

学校は、学ぶところです。先生や友達と一緒に考えたり感じたりしながら、たくさんを知り、分かれ、できるようになっていきます。よりよく学ぶためには、よい学習習慣を身に付けることが大切です。

1 学習用具

○すべての持ち物に名前を書きます。
○筆記用具は、尖さすぎないものを選びます。墨の漏れ防止のものを使うようにします。

<筆記用具>

- ・鉛筆……2本、Bを5本程度、鉛字におおし、磨りのないシンプルなもの。キャップを使用する場合は鉛筆と同様に、シンプルなもの。
- ・シャーペン……鉛字は使わない。
- ・消しゴム……低学年は巻消し、中学年は滑り止め、高学年は、ボールペンの巻消し、墨にもう1巻 使用可。
- ・消しゴム……消しゴム前後に記号で書き、磨りのないシンプルなもの。
- ・定規……記入しに入る15センチ程度のもの。
- ・ノート……黒い表紙の活字用紙。

2 授業前の準備

○学習の準備をしてから休むをします。
○授業開始時刻までに席に着きます。
○必要なもの(教科書・ノート・学習用具)を机の上きちんと置きます。
○道具を忘れてしまったら、授業が始まる前に、先生に言えます。

3 授業中のやくそく

○授業に関係のないものは、しまっておきます。
○特別な理由があるときは、先生に言えます。
○お話を聞いているときに、手を動かして授業に参加します。

4 聞く

○発表する人の顔を向いて、口をじじて最後まで聞きます。

- ・していることをゆめて
- ・相手に手を向けて
- ・口をじじて
- ・手を動かして
- ・うなずきながら

5 話す

[話し方・聞き方の仕方] (学習全体で学習するとき)

○発言したいときは手をあげます。
○指名されたら「はい」と返事をし立ちます。
○話す相手の顔を向いて話します。
○お話を「さき」をつけて聞きます。
○みんなに聞こえるように声の大きさを気をつけて話します。
○3人組やグループで話し合ったり、相談したりするときは、話し方や声の大きさを気をつけます。

<声の大きさの例>

- 0: 声を出さない
- 1: ひとりの人と話すときの声
- 2: 4～6人の班で話すときの声
- 3: 教室のみんなに聞こえるように話すときの声
- 4: 体育館でみんなに話すときの声
- 5: グラウンドでみんなに話すときの声

しんがっき
新学期スタート!

いしき
さらに意識して

と
取り組もう!



特に、2学期にがんばりたいことは・・・こちら!

- 授業開始時刻までに席に着きます。(2 授業前の準備より)
- よい姿勢で授業に集中します。(3 授業中のやくそくより)
- 発表する人の方を向いて、口をじじて最後まで聞きます。(4 聞くより)
- 話す相手の方を向いて話します。(5 話すより)



クラスのめあてを決めてとりくもう!

学年や学級によって、力を入れるべきところが違うことから、学年・学級で話し合いを行い、「めあて」を決めて取り組んでいきます。みんなで力を合わせて、より集中して学習に取り組める雰囲気を作っていきます。そして、家庭学習でも集中して取り組む力を付けましょう。

おすすめ自学紹介コーナー

みなさんが家庭学習で取り組んだ「自主学習」を、iPadを活用し、2学期より全校で共有することができるようになりました。各クラスのがんばって取り組んでいる自学を紹介していきます。参考にしながら、家庭学習の充実を目指しましょう!

